

トヨコ通信

2007年6月

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2007年 6月 1日 第58号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
日本共産党大垣市後援会

部内資料

6月議会始まる!

～懸案事項を徹底追及～

6月4日からスタート!

5月28日、議会運営委員会が開催され、第2回定例会の日程と提出議案が明らかになりました。会期は6月4日から18日までの15日間、議案は補正予算や条例改など23件が提出される予定です。

(議案の主な内容)

一般会計補正予算案

- ・小野小の遊具破損事故を受けて、市内の保育所・幼稚園・中学校の遊具等を一点検及び修繕を行う費用として7140万円。
- ・工場等設置奨励金が、工場の規模が大きくなり当初予算では不足ということで1600万円の補正。債務負担行為(期間平成20～28年度)の限度額を1億1717万9千円多い3億5980万1千円に変更。
- ・大垣駅南北自由通路整備委託料900万円。
債務負担行為(期間平成20～22年度)限度額19億1700万円。
- ・請負契約の締結
安井小学校舎増築(岐建木村)、西小南舎耐震改修(岐建木村)、北中南舎耐震改修(内藤建設)

議会の日程

- 6月4日 議員総会 本会議
- 6月11日 一般質問(10:00)
- 6月13日 中心市街地活性化に関する委員会(10:00)
市民病院に関する委員会(13:00)
- 6月14日 建設環境委員会(10:00)
経済環境委員会(13:00)
- 6月15日 文教厚生委員会(10:00)
企画総務委員会(13:00)
- 6月18日 議会運営委員会 本会議

政務調査費について

大垣市議会は10日に臨時会を開催し、自民クラブの提案で政務調査費交付に関する条例の廃止議案を賛成多数で可決しました。政務調査費は「議員の調査研究に資するため必要な経費の一部」として、議員一人当たり月額10万円が各会派に対して交付されていました。例年ほぼ全額使われていますが、領収書添付の義務も、報告書の公表もないためどのように使われたか分かりません。

私は議員になって1年目のときは、この政務調査費を使って自治体の視察を何ヶ所か行い、大変勉強になりました。2年目からは市政を市民のものにするために、また市民の声を議会に反映させるため「議会だより」を発行して、政務調査費を大いに活用しました。

政務調査費は公費を投入しているので市民に公開する義務があります。しかし今回の政務調査費廃止は過去の使途について不問にするものです。私は政務調査費の趣旨に沿って「政務調査費収支報告書」(平成17年度:下表)を公表します。

科目	決算額(円)	摘要
研究研修費	29,500	研究会・研修会の参加費など
調査旅費	177,600	研修会や視察に要した旅費宿泊費等
資料作成費	269,282	HP作成費、印刷費、事務用品等
資料購入費	989,732	書籍・新聞など
広聴費	917,335	議会報告会場費、議会だより発行費
その他経費	11,185	郵便料金、手数料
合計	1,188,634	

海外視察辞退

政務調査費より税金の無駄使いではないかと指摘されている議員の海外視察について、今年も長期と短期のものに420万円の予算がついています。長期視察は一人当たり90万円で2名、短期視察は一人当たり80万円で3名です。長期視察の対象者は2期目の議員(5人)から調整して出すということで、私にも打診がありました。私が辞退しました。

はしか 大垣は大丈夫?

今年は15歳以上のはしか患者が急増しています。この原因は、小学生以上の年代ははしかの予防接種を1回しか実施しておらず、丁度大学生頃に抗体が落ちてきて感染するからです。そのため大学での感染が多く、東京など学校閉鎖になっているところも出てきています。「大垣は大丈夫か」「発生したときの対応は」など保健センターに尋ねると、東京など大都市では、もともとはしかの予防接種率が低いので感染者が出ているが、大垣市のような地方都市では予防接種率は高く、大学の数も少ないことなどから、東京のような感染にはならないのではないか、という事でした。ワクチン接種については必要と判断されれば県の指示で行うとのことでした。



表 平成17年度、笹田トヨコの政務調査費収支報告書
*残金11,366円を返還

いまこそたしかな野党が必要です ～07参院選に向けてキャラバン



加藤たかおさんとキャラバンにて

5月23日、岐阜選挙区から立候補を予定している加藤たかおさんと一緒に、大垣市内12ヶ所街頭演説を行いました。参議院選挙は7月5日公示22日投票で行われます。

今回の参院選の争点は、一つに、貧困・格差がすすむ中、増税や年金・医療・福祉など社会保障制度の更なる改悪でますます格差を広げてしまう今の政治にストップをかけることができるかどうか。もう一つは、憲法9条をはじめとした憲法改悪の動

きにストップをかけることができるかどうかです。私は、今の自民・公明与党の悪政にストップをかけるためには、民主党ではなく共産党が大きく伸びることだと訴えました。なぜならば、民主党も自民党と同じように憲法9条を変えようと言っており、また派遣労働等非正規雇用を大量に生み出した労働法制改悪に賛成し、貧困・格差をすすめてきた政党だからです。

私は、街宣で、「今まで自民や民主を支持されてきた方、また投票に行かなかった方、今度こそ共産党に入れてください」と訴えました。

興文校下住民大運動会(写真)

5月20日、五月晴れのよい天気在校下の大運動会が開かれました。例年より多くの人に参加し、新しく生まれた自治会の参加で、興文校下の人口が少しずつ増えているのを実感。小さな男の子が大きな声で選手宣誓を行い大変微笑ましかったです。



東海自治体学校に参加して

5月20日、東海自治体学校で「医療・福祉」の分科会に参加してきました。その中で印象に残った発言を紹介します。

- *介護保険制度になって「介護」は社会化されたが、中、高所得階層は限度額いっぱい利用できても、低所得階層は利用料を15万円以内にするため利用率は低い。
- *ヘルパーの報酬単価が低いので、介護分野ではワーキングプアを生み出している。又、事業所はヘルパーをやる人がいなくて困っている。
- *後期高齢者医療制度で75歳以上のすべての人から保険料を年金天引きするのは憲法違反ではないか。

任を放棄しようとしています。

政治とカネ ～疑惑の幕引き狙う

また、政治資金疑惑の中、松岡農林水産大臣が自殺されました。自殺されたことはとても痛ましいことですが、「政治とカネ」の問題を曖昧なまま放っておくわけにはいきません。何よりも「疑惑のデパート」と言われていた松岡氏を閣僚に任命した安倍首相の任命責任が厳しく問われます。

草の根の力が政治を変える ～比例は日本共産党に

日本共産党は、「たしかな野党」として、国民の切実な願いを実現する仕事に力を注いでいます。国保や介護の負担引き下げ、サービス残業の根絶、子どもの医療費の無料化など、国民のみなさんと草の根で力をあわせて実現した数々の実績があります。

国会では重要法案が十分な審議もされず「強行採決」が相次ぐ異常事態になっています。審議のない、国民の意見の反映のない国会ほど危険なものはありません。日本共産党の議席増で与党の過半数割れを実現し、政府の暴走を食い止めましょう。

我が家の つるバラ



消えた年金 ～自公政権、またもや強行採決

また、今国会で二つの大きな政治的課題が浮上してきました。年金と政治資金の問題です。年金問題では社会保険庁で5千万件に及ぶ年金保険料納付の記録ミスがあったというもので、多くの人年金を納めたのに記録上は納めていないことになっています。そのために将来の年金受給資格がなくなったり、受給額が減る可能性があります。このことに対してマスコミの世論調査などで大きな批判が巻き起こっています。しかし自民・公明政権は社会保険庁の解体・民営化を推し進め、ますます公的年金に対する責